

AKINO FUKU MUSEUM EXHIBITION SCHEDULE

2025.4
↓
2026.3

浜松市秋野不矩美術館 展覧会スケジュール



展示作品は変更する場合がございます。

4.1 TUE
↓
4.20 SUN
[所蔵品展]
創造の眼Ⅰ ～心施～

心施とは、他人の傷も自分の傷の痛みとして感じとるまなざしを指します。形なきもの(心や思い)をどのように見える形で表現してきたのか、不矩の創造の源に迫ります。



秋野不矩《少年群像》1950年
浜松市秋野不矩美術館蔵

4.26 SAT
↓
5.25 SUN
[所蔵品展]
創造の眼Ⅱ ～眼施～

眼施とは、相手や対象を思いやる心で見つめるまなざしのことを指します。作品からにじみ出る温かさや優しさの奥にある表現せずにはいられない作家の思いに迫ります。



秋野不矩《三菩薩像》1986年
浜松市秋野不矩美術館蔵

6.14 SAT
↓
7.27 SUN
[特別展]
京都 大原に生きた画仙人
小松均展 —自然をまなざす

京都大原の地で自給自足の生活を営みながら自然に向き合い制作を続けた小松均。日本各地の風景や身近な生き物など、新たな日本画を模索しながら制作された多彩な表現をご紹介します。



小松均《牛図 さみだれ》1934年 個人蔵

8.5 TUE
↓
8.31 SUN
[所蔵品展]
創造の眼Ⅲ ～慧眼～

慧眼とは、真理を見抜くまなざしであると共に、一切衆生の理を見通す知恵のまなざしを指します。不矩が本当に描きかかったもの・ことから見えてくる大切にしたい価値に迫ります。



秋野不矩《廢墟Ⅰ》1989年
浜松市秋野不矩美術館蔵

9.13 SAT
↓
11.9 SUN
[特別展]
風景へのまなざし

作家の目にとらえられた景色は千変万化の表現となり、風景画作品として私たちに新たな世界を紹介してくれます。奥村土牛や小野竹喬、東山魁夷など20世紀の日本画壇を代表する作家たちの風景画をお楽しみください。



東山魁夷《暁雲》1977年
株式会社ヤマタネ蔵

11.22 SAT
↓
2026 1.12 MON
[所蔵品展]
創造の眼Ⅳ ～天眼～

(12月29日～1月3日は休館)

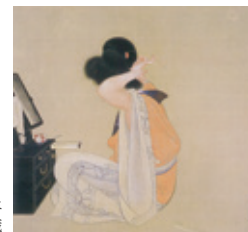
天眼とは、外見や肩書といった表面的なものから価値を見出すのではなく、眼で見える以上のことまで見ようとするまなざしを指します。不矩作品から天眼の視点に迫ります。



秋野不矩《姉妹》1946年
浜松市秋野不矩美術館蔵

2026 1.24 SAT
↓
3.8 SUN
[特別展]
京都市立芸術大学芸術資料館所蔵
京都の日本画—京都画壇の俊英たち—

京都市立芸術大学から巣立ち、あるいは教鞭を執った作家たちによる、明治から現代に至る京都の日本画を紹介します。京都の近代日本画の流れを一望するとともにその魅力をご堪能ください。



土田麦傳《髪》1911年
京都市立芸術大学芸術資料館蔵

2026 3.17 TUE
↓
[所蔵品展]
創造の眼Ⅴ
～慈眼～

慈眼とは、慈しみのこもった慈悲のまなざしを指します。慈愛に溢れた不矩表現の源流を、エピソードや随筆資料と絡め、より深い表現理解・作家理解に迫ります。



秋野不矩《朝の祈り》1988年
浜松市秋野不矩美術館蔵

4.1-4.20

創造の眼Ⅰ
～心施～

4.26-5.25

創造の眼Ⅱ～眼施～

6.14-7.27

京都 大原に生きた画仙人
小松均展-自然をまなざす

8.5-8.31

創造の眼Ⅲ
～慧眼～

9.13-11.9

風景へのまなざし

11.22-1.12

創造の眼Ⅳ～天眼～

※12/29～1/3は休館

1.24-3.8

京都の日本画
-京都画壇の俊英たち-

3.17-

創造の眼Ⅴ
～慈眼～

2025 4 Apr.

5 May

6 Jun.

7 Jul.

8 Aug.

9 Sep.

10 Oct.

11 Nov.

12 Dec.

2026 1 Jan.

2 Feb.

3 Mar.